



平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月7日

上場会社名 ザ・パック株式会社 上場取引所 東大
 コード番号 3950 URL <http://www.thepack.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中尾 吉計
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 織田 強 (TEL) 06 (6972) 1221
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 平成24年9月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績 (平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	38,987	3.4	1,904	△13.5	2,019	△10.9	1,124	△3.9
23年12月期第2四半期	37,690	△0.5	2,202	△5.2	2,267	△4.7	1,171	3.9

(注) 包括利益 24年12月期第2四半期 1,302百万円(7.5%) 23年12月期第2四半期 1,212百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	56 54	—
23年12月期第2四半期	58 87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第2四半期	60,166	34,906	58.0
23年12月期	63,154	34,001	53.8

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 34,889百万円 23年12月期 33,983百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	20 00	—	20 00	40 00
24年12月期	—	25 00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	25 00	50 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

24年12月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 記念配当 5円00銭

24年12月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 記念配当 5円00銭

3. 平成24年12月期の連結業績予想 (平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,000	3.0	5,550	5.4	5,700	5.0	3,200	19.4	160 86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年12月期2Q	19,900,000株	23年12月期	19,900,000株
② 期末自己株式数	24年12月期2Q	6,552株	23年12月期	6,552株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年12月期2Q	19,893,448株	23年12月期2Q	19,893,544株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中ではありません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記述は、業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定及び本日現在における入手可能な情報を前提としており、実際の業績等は様々な要因で大きく異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想に関しましては、【添付資料】P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2.	サマリー情報(その他)に関する事項	3
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
	(4) 追加情報	4
3.	四半期連結財務諸表	5
	(1) 四半期連結貸借対照表	5
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
	(3) 四半期連結キャッシュフロー計算書	10
	(4) 継続企業の前提に関する注記	12
	(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年1月1日から平成24年6月30日まで）におけるわが国経済は、東日本大震災後の厳しい経済環境からは回復基調にあり、復興需要を背景に緩やかな景気持ち直しの動きは見られますが、欧州債務危機の再燃、長引く円高傾向に加え、原子力発電所稼働停止に伴う燃料輸入増加による貿易赤字が拡大し、最大の貿易相手国である中国の経済成長に鈍化が見られるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。個人消費につきましては、消費税率引き上げ法案が衆議院で可決された一方、社会保障制度の一体改革に具体的な進展がなく、生活防衛意識の高まりやデフレ傾向の長期化による消費者の節約志向が続いています。

このような状況の中、当社は会社創立60周年を迎え、「元気いっぱい 明るく前進 60周年」をスローガンにグループ全社の結束を一層強化し、昨年7月に稼働した東京工場の設備と能力を活用して首都圏市場の需要に対応するなど、業績の向上に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は389億87百万円（前年同四半期比3.4%増加）、営業利益は19億4百万円（前年同四半期比13.5%減少）、経常利益は20億19百万円（前年同四半期比10.9%減少）、連結第2四半期純利益は11億24百万円（前年同四半期比3.9%減少）となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

（紙加工品事業）

当第2四半期連結売上高の57.6%を占めるこの部門では、紙袋（対連結売上高構成比30.0%）は、全体に堅調に推移し、紙袋の同上売上高は116億86百万円（前年同四半期比4.4%増加）となりました。

紙器（同上構成比13.7%）は、食品業界その他の新規開拓や深耕の成果が結実しつつあり、同上売上高は53億53百万円（前年同四半期比5.9%増加）となりました。

段ボール（同上構成比11.7%）は、主力とする家電業界不振の影響はあるものの、新規市場開拓の成果があがり、同上売上高は45億67百万円（前年同四半期比3.0%増加）となりました。

印刷（同上構成比2.2%）は、概ね堅調に推移しましたが、後半にやや受注が減少し、同上売上高は8億35百万円（前年同四半期比0.6%減少）となりました。

以上により、この部門の同上売上高は224億43百万円（前年同四半期比4.3%増加）となりましたが、東京工場の稼働に伴う減価償却費の増加等により、営業利益は10億37百万円（前年同四半期比24.8%減少）となりました。

（化成品事業）

当第2四半期連結売上高の21.3%を占めるこの部門では、生産市場向け製品が好調に推移し、同上売上高は83億9百万円（前年同四半期比4.7%増加）、営業利益は6億95百万円（前年同四半期比18.4%増加）となりました。

（その他）

当第2四半期連結売上高の21.1%を占めるこの部門では、繊維品が低調であったものの、PASシステムに係わる用度品等がこれを補い、同上売上高は82億34百万円（前年同四半期比0.0%増加）、営業利益は5億84百万円（前年同四半期比14.8%減少）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ29億88百万円減少し、601億66百万円となりました。これは主に「現金及び預金」・「有価証券」の増加、「受取手形及び売掛金」・「機械装置及び運搬具」の減少によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ38億93百万円減少し、252億60百万円となりました。これは主に「未払法人税等」の増加、「支払手形及び買掛金」・「長期借入金」の減少によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ9億5百万円増加し、349億6百万円となりました。これは主に「利益剰余金」・「その他有価証券評価差額金」の増加によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて16億31百万円(20.1%)増加し、97億67百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少34億30百万円があった一方、税金等調整前四半期純利益21億42百万円、売上債権の減少46億96百万円等により45億71百万円の収入(前第2四半期連結累計期間は29億21百万円の収入、前第2四半期連結累計期間比56.5%増加)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の売却による収入5億64百万円等があった一方、有形固定資産の取得による支出11億88百万円、有価証券の取得による支出12億5百万円等により17億17百万円の支出(前第2四半期連結累計期間は25億8百万円の収入)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出8億76百万円、配当金の支払額3億87百万円等により12億31百万円の支出(前第2四半期連結累計期間は12億74百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社の属する業界におきましては、売上高に影響する個人消費は緩やかに回復基調にあるものの、主力販売先である流通市場、生産市場の企業業績の今後の推移は不透明であり、業界内の低価格競争が継続する反面、原材料価格の高止まりが続くなど、当面の間、厳しい経営環境が続くものと思われま

す。こうした状況のなか、当第2四半期におきましては、これまで行ってまいりました販売強化の諸施策が結実しつつあり、今後も売上は緩やかな回復基調で推移するものと予想しておりますが、当社グループは、お客様に一層のご満足をいただける製品・サービスの開発と品質向上及び適正価格による販売に努めるとともに、グローバルな視野で市場開拓を進め、事業内容の見直しや業務改革による合理化を一層推進して、さらなる業績の向上に努める所存でございます。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第2四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益への影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,293	7,626
受取手形及び売掛金	21,303	16,622
有価証券	2,095	3,199
商品及び製品	4,523	4,793
仕掛品	546	582
原材料及び貯蔵品	773	539
繰延税金資産	190	196
その他	716	788
貸倒引当金	△58	△44
流動資産合計	36,384	34,303
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,682	8,479
機械装置及び運搬具(純額)	5,879	5,401
工具、器具及び備品(純額)	450	382
土地	7,681	7,388
建設仮勘定	333	318
有形固定資産合計	23,026	21,969
無形固定資産		
投資その他の資産	295	255
投資有価証券	2,275	2,466
繰延税金資産	867	891
その他	411	359
貸倒引当金	△107	△80
投資その他の資産合計	3,447	3,637
固定資産合計	26,769	25,862
資産合計	63,154	60,166

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,440	16,020
短期借入金	2,052	2,077
未払法人税等	836	1,116
賞与引当金	160	158
役員賞与引当金	28	14
その他	2,258	2,341
流動負債合計	24,777	21,728
固定負債		
長期借入金	1,807	937
退職給付引当金	2,450	2,487
その他	117	106
固定負債合計	4,376	3,531
負債合計	29,153	25,260
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,553	2,553
資本剰余金	3,165	3,165
利益剰余金	28,581	29,308
自己株式	△6	△6
株主資本合計	34,294	35,021
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	169	322
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△480	△455
その他の包括利益累計額合計	△311	△132
少数株主持分	17	17
純資産合計	34,001	34,906
負債純資産合計	63,154	60,166

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
売上高	37,690	38,987
売上原価	28,882	30,357
売上総利益	8,808	8,630
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	1,706	1,780
給料及び手当	1,931	1,834
役員報酬	188	186
貸倒引当金繰入額	—	△14
賞与引当金繰入額	97	88
役員賞与引当金繰入額	14	13
退職給付費用	186	204
減価償却費	155	434
賃借料	1,153	997
その他	1,172	1,199
販売費及び一般管理費合計	6,606	6,725
営業利益	2,202	1,904
営業外収益		
受取利息	36	35
受取配当金	31	30
その他	23	71
営業外収益合計	91	138
営業外費用		
支払利息	11	10
売上債権売却損	4	3
為替差損	6	—
その他	3	9
営業外費用合計	26	23
経常利益	2,267	2,019

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
特別利益		
貸倒引当金戻入額	19	—
固定資産売却益	—	269
特別利益合計	19	269
特別損失		
固定資産除却損	2	7
固定資産売却損	25	—
投資有価証券売却損	1	—
投資有価証券評価損	24	12
災害による損失	115	—
工場移転費用	38	—
工場閉鎖損失	—	94
減損損失	—	30
特別損失合計	207	145
税金等調整前四半期純利益	2,079	2,142
法人税、住民税及び事業税	865	1,088
法人税等調整額	42	△69
法人税等合計	908	1,018
少数株主損益調整前四半期純利益	1,170	1,124
少数株主損失(△)	△0	△0
四半期純利益	1,171	1,124

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,170	1,124
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27	152
繰延ヘッジ損益	3	0
為替換算調整勘定	10	25
その他の包括利益合計	41	178
四半期包括利益	1,212	1,302
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,212	1,303
少数株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,079	2,142
減価償却費	724	1,133
減損損失	—	30
のれん償却額	6	6
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△52	△41
賞与引当金の増減額(△は減少)	3	△2
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△14	△14
退職給付引当金の増減額(△は減少)	5	36
受取利息及び受取配当金	△67	△66
支払利息	11	10
固定資産売却損益(△は益)	25	△269
固定資産除却損	2	7
投資有価証券売却損益(△は益)	1	—
投資有価証券評価損益(△は益)	24	12
売上債権の増減額(△は増加)	5,605	4,696
たな卸資産の増減額(△は増加)	△470	△68
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,873	△3,430
その他	72	1,150
小計	4,083	5,334
利息及び配当金の受取額	70	59
利息の支払額	△12	△10
法人税等の支払額	△1,220	△810
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,921	4,571
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△1,000	△1,205
有価証券の売却による収入	6,451	401
貸付けによる支出	△86	△299
貸付金の回収による収入	121	23
有形固定資産の取得による支出	△2,752	△1,188
有形固定資産の売却による収入	37	564
無形固定資産の取得による支出	△18	△1
投資有価証券の取得による支出	△262	△10
投資有価証券の売却による収入	13	—
その他	4	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,508	△1,717

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	31
長期借入金の返済による支出	△876	△876
配当金の支払額	△398	△387
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,274	△1,231
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,154	1,631
現金及び現金同等物の期首残高	7,860	8,135
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,015	9,767

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

以上